

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年9月26日（月）

2 確認箇所

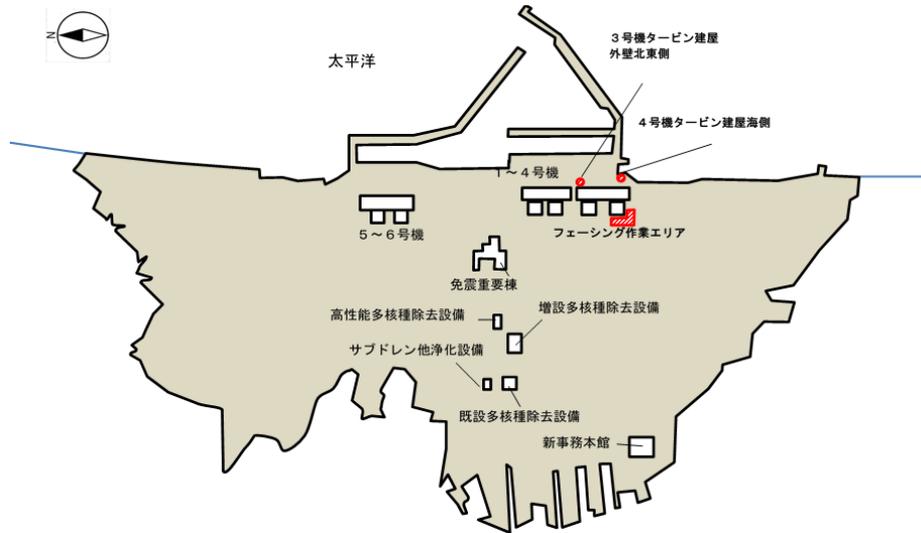
- (1) 4号機タービン建屋東側
- (2) 3号機タービン建屋外壁北東側
- (3) 4号機原子炉建屋西側

3 確認項目

- (1) 4号機タービン建屋東側におけるクレーン撤去作業の状況
- (2) 3号機タービン建屋外壁止水工事の状況
- (3) 4号機原子炉建屋西側フェーシング工事の状況

4 確認結果の概要

- (1) 4号機タービン建屋東側におけるクレーン撤去作業の状況について
4号機タービン建屋東側には、東日本大震災の際に津波により被災し動けなくなった550tクレーンがあり、東京電力が撤去する作業を進めている。前回、550tクレーンは別の門形クレーンによって移動され、仮置きされていることを確認した。東京電力によれば、550tクレーン撤去跡地はスーパーキャリア（多軸台車）が進入できるようにコンクリート打設するとのことであり、引き続き状況を確認した。（前回確認：[令和4年9月2日](#)）
 - ・550tクレーンは、仮置きされた状況のままタイヤが外されており、シート養生されたタイヤが、防油堤内に置かれていた。（写真1）
 - ・防油堤内には雨水と見られる水が滞留していた。防油堤内の受けパンは移動されていたが、水面に油膜等は見られなかった。（写真2）
 - ・550tクレーン跡地において前回確認したフレコンバッグはすべて無くなっており、下部はフェーシングやコンクリート打設され、フェーシング部分にはU字溝やグレーチングなどの資材が置かれていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
前回確認時のクレーンの状況
(撮影日：令和4年9月2日)



(写真1-2)
今回確認時のクレーンの状況
(撮影日：令和4年9月26日)



(写真2)
クレーン下部防油堤内の状況



(写真 3-1)
550t クレーン跡地の状況
(撮影日：令和4年9月2日)



(写真 3-2)
550t クレーン跡地の状況
(撮影日：令和4年9月26日)

(2) 3号機タービン建屋外壁止水工事の状況について

3号機では建屋に流入する地下水を抑制することを目的として、地下貫通部の調査や試験的な止水が行われており、前回確認時に構台上にボーリングマシン等が設置されていることを確認した。その後の状況を確認した。(前回確認日：令和4年9月20日)

- ・前回確認したボーリングマシンを使った試験的な掘削が行われており、多数の作業員が作業に当たっていた。(写真4)



(写真 4-1)
掘削の状況(1)



(写真 4-2)
掘削の状況(2)

(3) 3、4号機原子炉建屋西側フェーシング工事の状況について

東京電力は、建屋への地下水流入量の低減や空間放射線量の低減を目的として、構内の地表面をアスファルト等で覆うフェーシング工事を実施してい

る。敷地内の計画エリア145万㎡のうち、2022年8月末時点で約95%が完了しており、陸側遮水壁内エリアについては、計画エリア6万㎡のうち、2022年8月末時点で約30%が完了している。

現在、4号機原子炉建屋西側で作業が行われていることから、状況を確認した。(図1) (前回確認：[令和4年7月20日](#))

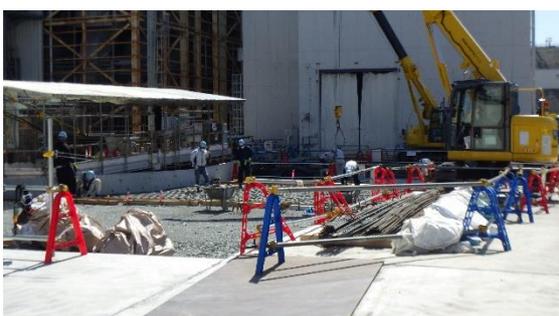
- ・工事範囲のうち、3, 4号機西側道路では、道路の西側部分のコンクリート打設が終わっていた。東側では砂利が敷かれていた。(写真5-1)
- ・4号機原子炉建屋西側及び南西側では鉄筋を配置する作業が行われていた。(写真5-2) (写真5-3)



(写真5-1)
フェーシング工事の状況 (3, 4号機西側道路)



(写真5-2)
フェーシング工事の状況 (4号機西側)



(写真5-3)
フェーシング工事の状況 (4号機南西側)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。